

講義名	地域情報処理		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	三谷 哲雄		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	11046

主題と概要

現代の地域社会における生活・経済・企業などの活動は、地形や建物、道路などの「不動産(動かないもの)」とともに、移動するヒトやモノなどの様々な「可動物(移動体)」とが、「地域」の中で複雑に絡み合っており、また、地域の中の様々な課題やニーズも出現します。よりよい地域社会にしていけるためには、それらをしっかりと探り、解決していくことが求められます。そのためには、地域の不動産や可動物の実際の状況をより正確で詳細に把握すること、そこからの的確に評価・分析すること、そこから解決策を導出すること、などの地域に関する様々な解析(地域情報解析)が重要となります。

しかし、これらを、実際の地域すなわち1/1スケールで実行することは現実的ではありません(もちろん、限られた地域の中に限定すれば、不可能ではありません)。それを「社会実験」と言います。また、地域の不動産や可動物は、膨大で多様な複雑な情報であるため、それをデータにせず情報のまま、人の手で扱うことは不可能です。したがって、地域の情報を実体そのものではなく、模擬空間内のデータとしてモデル化することが必要となります。さらに、それらの膨大なデータを効率的に扱う手法つまり道具(情報システム)、が必要です。

そこで本科目では、こうした地域社会の様々な活動の課題把握やその解決のために不可欠な情報システムの一つとして、地理情報システム(GIS:Geographical Information System)を取り上げます。ここでは、このGISの基本的な知識を習得するとともに、その知識を深め、それを様々な場面で活用できる応用力や適用力を養うことを目的とします。具体的には、GISの基本構成、データ構造、構築方法などについて学習(【座学】)すると共に、演習(【実習】)を通して、解析ツールとしてのGISの基礎的な活用技術の修得を目指します。

到達目標

受講生の到達目標は、次の3点です。第一目標は、本科目で紹介する地理情報システムを「知る」こと、です。第二目標は、その技術の基礎を「理解する」こと、です。第三目標は、その「活用力(結果を読み解く力・考える力・考察する力など)を身につける」こと、です。

提出課題

講義の進捗に合わせて適宜指示します。

予定している課題は、講義内容に関する調査レポート、地域データを用いた計算レポート、などの講義レポート、さらに地理情報システムを使った演習レポートなどです。

評価の基準

講義レポートや演習レポート、小テストなどに基づき、3つの目標への到達程度を総合的に評価する。評点の配分は、次の通りです；講義レポート(知る・理解する)に20%、演習レポート(理解する・活用力)に30%、小テスト(理解する・活用力)に50%。

履修にあたっての注意・助言他

演習では、パソコン演習室のWindowsPCにインストールされた業務用GISソフトウェアを利用する。このため、Windows操作やファイル操作、USBメモリの使い方、などのWindowsPCの基本的な操作方法を習得していることが必要である。

まわりの学生に迷惑をかけるような行為(講義中の私語、講義途中の入退室、など)は厳禁です。そのような学生は、他の受講生に配慮してやむを得ず退室させることがあります。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

教科書を使用しない代わりに、教員作成の講義資料を使います。講義資料は、適宜配布します。この資料に板書や口頭解説の内容を適宜メモを取り、各自の講義ノートを構築してください。

なお、実習で利用するGISソフトの解説書として、「SIS入門 基礎から学ぶGIS(鍋島美奈子・石川愛・古今書院・\2,800)」をあげておきます(本学図書館に数冊所蔵)。必須ではありませんので、必要に応じて活用してください。

以下は、GISに関する参考図書(本学図書館に所蔵)です；「地理情報システム 入門&マスター」 町田 総 山海

授業計画

01	講義概要
	【座学】
	1: 地理情報システムの概要
02	2: 地理情報システムの仕組みと機能(1)
03	3: 地理情報システムの仕組みと機能(2)
04	4: 地理情報システムの仕組みと機能(3)
05	5: 地理情報システムの仕組みと機能(4)
06	6: 地理情報システム活用の要点 地域情報解析への地理情報システムの活用 総まとめ
	【実習】
07	1: 実習概要, GISソフトの基本操作(1)
08	2: GISソフトの基本操作(2)
09	3: GISソフトの基本操作(3)
10	4: 地域分析演習(1) - 演習内容の説明
12	5: 地域分析演習(2) - 演習作業
13	6: 地域分析演習(3) - 演習作業
14	7: 地域分析演習(4) - 演習作業
15	地域分析演習レポートの提出など

予習・復習

それぞれの項目ごとの講義外の予習・復習時間の目安を示す([時間])。

1) 初回: シラバス事前確認や講義概要およびGIS活用事例の資料の事後確認 [2]
2) 第1章: 事前確認や下調べ, 講義レポート [3]
3) 第2章: 事前確認や下調べ, 講義レポート [8]
4) 第3章: 事前確認や下調べ, 事後確認 [1]

備考

実習では、データファイルの保存のため、USBメモリを使用します。実習に入るまでに準備しておいてください。なお、実習開始時期は早まる場合もありますので、速やかに準備しておいてください。